



# 山形県寒河江市 & 早稲田大学 地域連携スタディツアー2025

## 地域連携スタディツアーとは

参加学生が地域の文化、産業、自然環境などを直接体験し、地域の課題や魅力を深く理解することを目的とした、早稲田大学と地方自治体が共同で企画する実践的な学びのプログラムです。

プログラムのなかで、自治体や地域住民、企業等との交流を通じて、設定されたテーマについて考察します。地域社会の現実的な課題に直面し、解決策を模索する経験を積むことで、今後の地域連携や地域貢献活動に役立つ「学び方を学ぶ」ことができます。このプログラムを通じて、自らの経験値を上げ、地域を見る目、地域の課題解決に対応する力をぜひ養ってください。

## おススメのポイント！

- 寒河江市内で、地域の基幹産業である農業の実態を学ぶことができます。
- 交流会や共同活動という形で、地域の人々や地域の子どもたちと交流して、戻ってきたくなるふるさとの姿を探ります。
- 副専攻「地域連携・地域貢献」の実践領域の対象プログラムです。

## テーマ

**戻ってきたくなる未来のふるさとづくりのためには何が必要か  
～農業・子ども・地域との触れ合いを通して考える～**

地方における若者の流出は深刻な状況にあり、その影響は地域社会の様々な側面に及んでいます。持続可能な地域づくりのためには、U ターンの促進や、地域外にいながらも地域と継続的に関わる関係人口の創出が鍵になると考えられます。参加学生は、農業をはじめとした地域産業の現状に触れ、地域の子どもたちや人々との交流を通じて、地域の実態について学び、「人々が再び戻ってきたいと思うふるさとづくりのために必要なこと」を考察して、最終日に市役所でプレゼンテーションしてください。

## 寒河江市の魅力

山形県寒河江市は、山形県のほぼ中央に位置し、周囲に月山、葉山、朝日連峰、蔵王を望み、清流寒河江川と最上川が流れる風光明媚な美しい自然と豊かな文化が魅力の街です。「さくらんぼの里」として知られ、毎年6月にはさくらんぼ狩りを楽しむ観光客が訪れます。また、1300年の歴史を有する本山慈恩寺は30体もの国指定重要文化財仏像群を有しており、多くの観光客で賑わいます。

産業面では、さくらんぼやりんごをはじめとする果物の栽培が盛んで、農業が地域経済の重要な柱となっています。近年では観光業にも力を入れており、地元の特産品や温泉、自然景観を活かした観光資源が多くの訪問者を引きつけています。



# 募集概要

実施日程	2025年9月22日(月)から9月25日(木) 3泊4日
募集対象	早稲田大学に所属する正規学部生・大学院生(修士課程)(学部、専攻、学年問わず) (留学生の場合は、日本語でのヒアリング、グループワーク、プレゼンテーションに対応できることを条件とする)
募集期間	2025年5月1日(木)～5月15日(木) 23:59 [厳守]
応募条件	①2回のオンデマンド授業を視聴し、それぞれ課題を提出すること、②現地3泊4日の全日程に参加すること(途中参加・早退不可)。③終了後に期限内にレポート提出すること、 <b>以上、3点を確約できる者。</b>
募集人数	10名 ※応募者多数の場合は、志望理由で選考します。
実施の流れ	① 6月と7月に各1回のオンデマンド授業を受講し、それぞれ課題を提出 ② 現地実習参加(最終日の成果報告会でプレゼンテーション) ③ 終了後にレポート提出
応募方法	① MyWASEDAの「お知らせ一覧」から「地域連携スタディツアー2025夏編」を検索 ② 「地域連携スタディツアー2025夏編応募フォーム」から「申請」をクリック 必要事項(志望理由など)を入力して申請
選考方法	書類選考: 結果通知は <b>2025年6月2日(月)までにWasedaメール</b> にて通知します。 ※当選者には、メールにて参加の意思確認をするので、日常的にメールを確認するようにしてください
連絡事項	① 本スタディツアーは課外活動なので、卒業単位の対象ではありませんが、副専攻「地域連携・地域貢献」の実践領域に「1単位相当」として認定されます。 ② 2025年9月22日から25日の現地実習は、現地集合・現地解散で、 <b>往復交通費は自己負担</b> です。 <交通費目安> 東京駅～寒河江駅 片道 11,780円(新幹線/指定席、在来線利用) ③ <b>参加者が現地で負担する費用は、宿泊3泊、朝食3回、夕食3回で計14,250円</b> です。初日に現地で徴収します。 <宿泊場所> 学びの里 TASSHO 〒990-0503 山形県寒河江市大字田代 370-1 ④ 現地移動費、現地昼食代、初日の懇親会費、初日の温泉施設の入浴料は、寒河江市からご支援をいただけることになったので不要です。 ⑤ 現地では、本学教員と自治体職員・関係者が引率します。 ⑥ 早稲田大学の学生補償制度(損害補償・賠償責任補償)に加入いただきます。費用は大学が負担します。 ⑦ 現地実習実施日と重複する集中科目等を欠席した場合、公欠扱いになりません。 ⑧ 参加確定後に、正当な理由なく参加を取りやめた場合、以後の地域連携スタディツアー、地域連携ワークショップ等に応募できないことがあります。 ⑨ <b>【重要】本スタディツアーに参加が決定した場合、5月末～6月上旬に募集予定の地域連携ワークショップおよび企業連携ワークショップへの応募はできません。事前に各プログラムの特色などをご確認の上、応募してください。</b> ⑩ 本スタディツアーでは連携先、大学がInstagram等公式 SNS を含む広報活動の目的で写真・映像を撮影します。掲載の際には個人特定されないよう十分注意いたしますが、あらかじめご了承ください。 ⑪ 選考結果に関する問い合わせにはお答えいたしかねます。あらかじめご了承ください。
問合せ先	グローバル・エデュケーション・センター 准教授 加藤基樹 (motokato@waseda.jp) ※問い合わせの際には、件名のほか所属学部/研究科、学年、氏名を必ずメール本文に含めてください。

## 現地実習のスケジュール（予定）

月日	時刻	内容
9/22 (月)	12:23	現地集合（JR左沢線寒河江駅）
	12:30～13:00	移動・オリエンテーション・開校式準備
	13:00～13:15	開校式（寒河江市役所）
	13:15～14:30	寒河江市役所にて、事前質問への回答、及び質疑応答 学生から必要に応じて個別にインタビューなど
	14:45～16:00	市内見学 （市内の主たる産業（工業団地）や文化施設を見学する）
	16:00～17:00	入浴（市内温泉施設）
	17:00～19:00	宿泊施設へ移動・夕食
	19:00～21:00	地域の方との懇親会 （田代地区、農業担い手の会、葉山村塾、寒河江市など）
9/23 (火)	7:00～9:00	起床・朝食・準備
	9:00	市内子どもたち（小学5年～中学3年生）と合流
	9:00～11:30	農産物収穫体験（子姫芋の収穫体験）や実地研修
	11:30～13:00	昼食（河原で芋煮会を予定） ※時間の都合を見て各自チェリーランドにてお土産購入可
	13:00～15:00	見学・研修（主たる物産やその生産・流通に関すること）
	15:00～16:30	慈恩寺旧境内・テラス見学（ガイドによる説明）
	16:30～17:00	子どもたちとの意見交換・インタビュー
	17:00～	移動・夕食・入浴
9/24 (水)	7:00～9:00	起床・朝食・準備時間
	9:00～12:00	市内見学と意見交換会 （若手経営者又は若手地域活性化団体との意見交換会を計画中）
	12:00～13:00	昼食
	13:00～17:00	プレゼンテーション準備
	17:00～	夕食・入浴
9/25 (木)	7:00～9:00	起床・朝食・移動
	9:00～11:00	成果報告・意見交換会 （プレゼンテーションと講評・寒河江市役所）
	11:55	現地解散（JR左沢線寒河江駅発）

※天候や訪問先のご都合等によって、変更が生じる場合があります

## その他

副専攻「地域連携・地域貢献」の実践領域では、2単位相当を要件としています。

本スタディツアーは1単位相当なので、これだけでは不足しますが、地域連携スタディツアーは、夏休みと春休みに、それぞれ数カ所で開催しています。今後、複数のスタディツアーに参加して、それぞれの違いを感じながら、実践的に学んでいくことをおすすめします。